



敗戦国メイドの 躑け調教♡

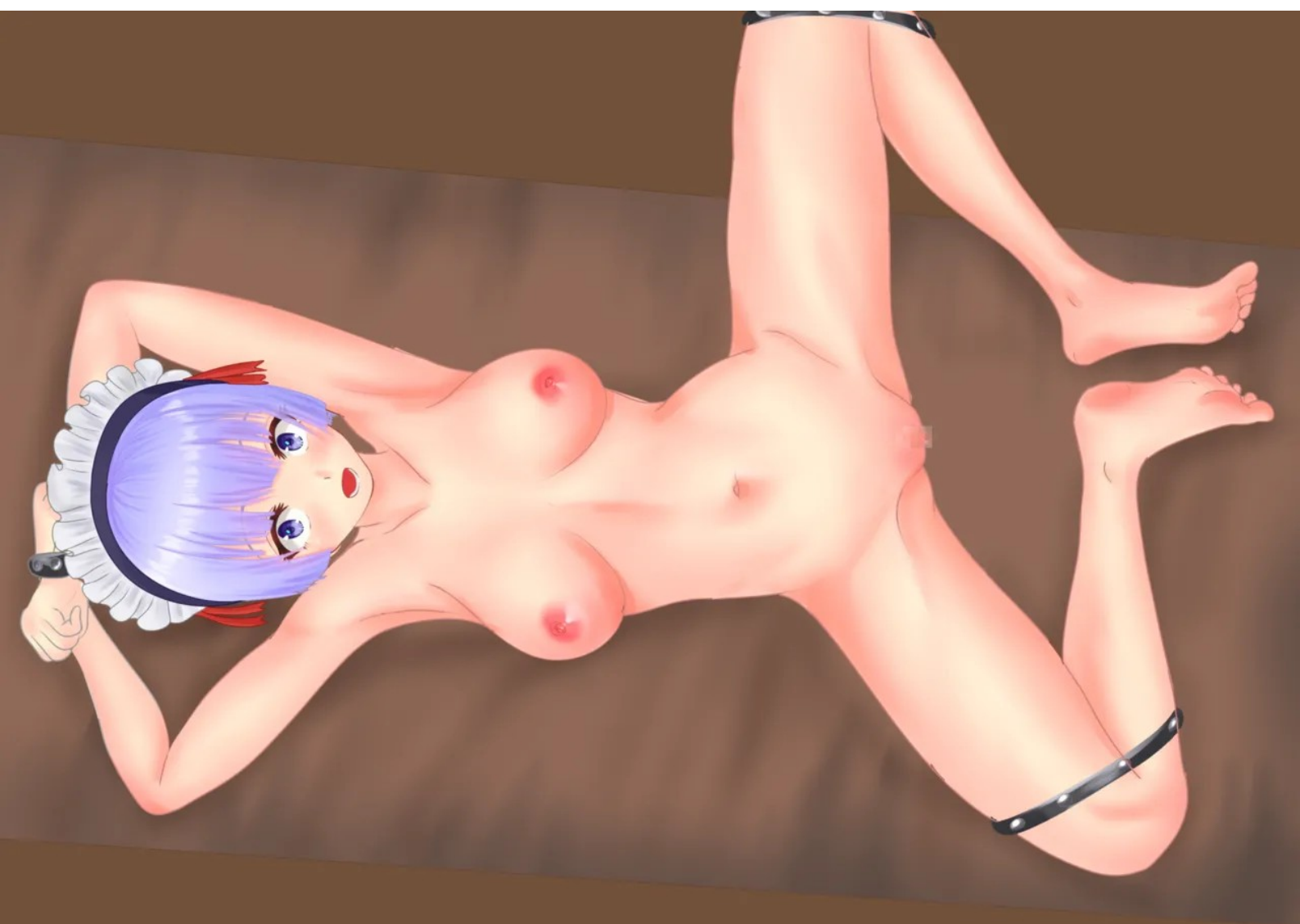
基本CG 13枚

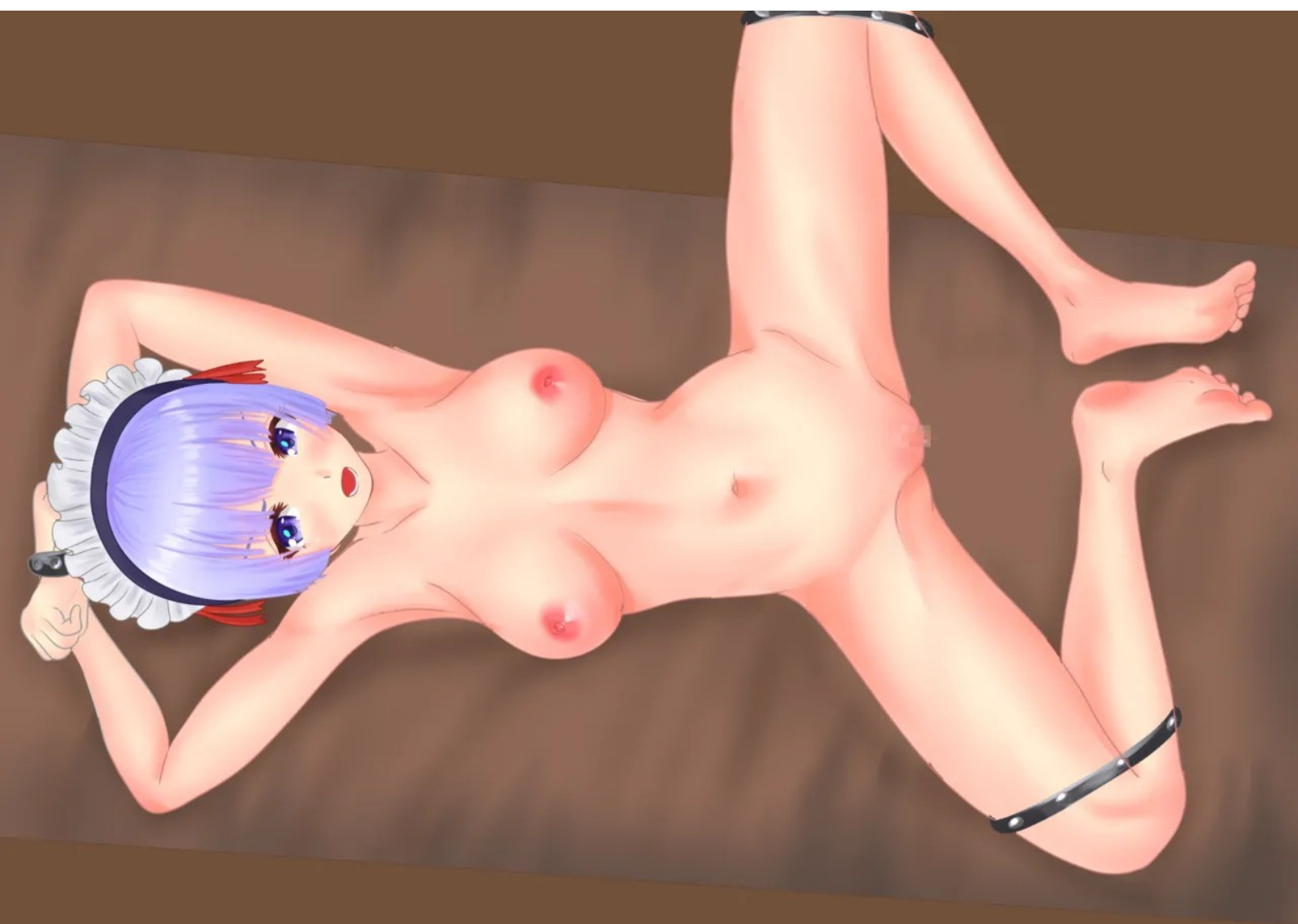


































































































アストラ帝国 王子直属メイド隊
隊長 レイン



彼女は若くして隊長に大抜擢された、
王子に忠誠を誓うメイドである。

レインは才気と気品にあふれ、様々なことに気配りが効く、
帝国宮廷内の誰もが憧れる女性であった。



おはようございます、
ご主人様。
ご機嫌麗しくございます。

王子直属メイドの職務内容には、王子の要望に応じて夜と共に過ごすことも当然含まれていたが、最年少で選抜されたレインは未だ処女のままであった。



「レインが〇〇歳の誕生日を迎えたらな。」という王子のお言葉。レインは慕っている王子との初夜を心待ちにしていた。

そんな主人への忠誠と密かな恋心を胸に、レインはいつものように職務を務めていた。

ご主人様！
今日はとても良い天気で
気持ちいいですよ！

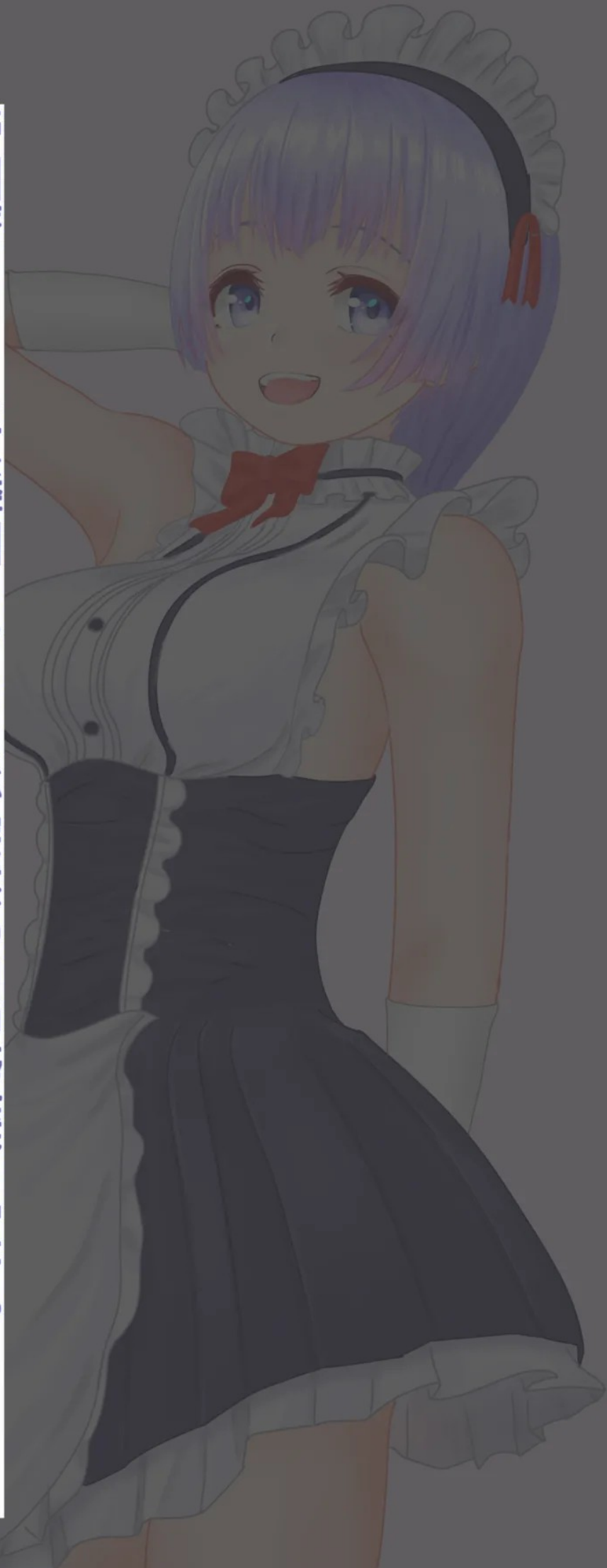


いつも元気なレインの屈託のない笑顔に、王子を含む宮廷内の皆が癒やされていた。

はい、メイド隊のみんな！
点呼とるよー！



しかし王子が、そんなレインの笑顔を見ることが出来たのは、この日が最後であつた。



帝国暦511年、隣国メンヒスが突然の同盟破棄を宣言。
同時に帝国へ宣戦布告。
戦力の手薄な背後からの侵攻に帝国は為す術なく惨敗。
わずか数日で王宮を占領されてしまう。
レインは、メンヒスの悪名高き宰相グスタフに囚われ幽閉された。





はっ
ここは……？

んん…

やあ、お目覚めかな？
レインよ

お前は…
グスタフ！

おやおや…
新しい主人に向かって
けしからん言葉遣いだ

新しい主人？
誰がお前などに！
それより王子を
どこにやったの！



あいつなら地下牢に幽閉している。
まだ利用価値はあるからな。

くっ…
許せない…

ふむ、一流メイドと聞いていたが、
どうも躰けが足りていないようだ。
ワシが直々に調教してやろう。



ビリビリビリッ……！
グスタフはレインのメイド服をナイフで切り裂いた。
まだ男性に見せたことのないレインのキレイな
裸体は完全にあらわにされた。

ぎゃあああ！！



くくく…
とてもキレイな身体だ。

くっ…
見るな汚らしい！



その威勢、
いつまで保つかな？

さやあ！
何するの？！

特製の催淫剤だよ。
これを塗り込まれて
正気を保てた女は
誰もおらんのだ。
くくく…

どいッ



身体全体に催淫剤を塗られたレインの裸体はテカテカと
艶かしく部屋の明かりを反射した。
グスタフはまずレインの乳房と乳首に丹念にしつこく
催淫剤を塗り込んでいった。

むにゅっ
ぐにゅっ

は…あ…
乳首が…
乳首が熱くて
ジーンする



おやおや…
早速気持ちよくなってきた
ようだね。

くっ…
そんなこと…
ない…っ！

ほう、そうかね？
シートに染みが付き始めて
いるのだからねえ

むにゅっ

くっゅっ

びゅっ

びゅっ



グスタフは、ぶつくりと勃起したレインの乳首に、
催淫剤を塗り込むように指で擦りあげた。
僅かな痛みと強烈な快感に耐えきれず、
レインは華奢な腰をくねらせ、人生初めて潮吹きを体験した。

あっあああああ
あああああああ
あああ！！！！

こりっ
こりっ

ぱっ♡

ビクッ

ビクッ



さて、お次はこっちの
お豆にも塗り込んでいこうか。

フッ

フッ

やっ…
もうやだあ

なにこれ…
お腹が、
お腹がキュンキュン
するよお。
おかしくなるう

グッ

グッ



レインのクリトリスが十分に充血し膨らんだことを確認すると、グスタフは指先でそれを弾き上げた。意識が飛ぶような強烈な快感によって、レインの潮は天井まで吹き上がった。

ピン！！

ひざいいああ
ああああああ
あああ！！！！



強烈な絶頂を迎えた直後、休む間も与えられず、たつぷりと
催淫剤を塗ったグスタフの指がレインの膣内に挿入された。



ずぶぶっ

ぬふっ

はっ

ううああ...
もうゆるしてえ

はっ

はっ

指は素早く出し入れされ、
膣壁に満遍なく催淫剤が塗り込まれていった。



ぐにぐに

ふちゃ

ぐちゃぐちゃ

はぁ

ふっ...あふっ

大きく勃起したクリトリスとGスポットを同時にせめられ、膣口からは愛液が溢れ出た。

ふっ…あふっ

ぐちゅ



はあ。





あああああ
あああぐううあ
ああああああ！

どうだ？
ワシの特製催淫剤はすごい
効き目だろう？くく…

何度イッても、うずきが
止まらない身体になっていく
から喜ぶがいい。

ふぐっ…
あふう…。

そんな…

ビクッ
ビクッ





さあ、しっかりと啜えて、
新しいご主人様に奉仕をするんだ

誰がアンタ
なんかに……！



ほう…いいのかな？
素直にならないと王子の命は保障
できないのだね？

くっ
卑怯者…！

ムフ



そうは言うが、ペニスの臭いで
まん汁ダラダラになっとるようだがね？

そ、そんなことない……っ！



チュポ パクッ

むぐっ...
く...く...く...



むぐっ...
く...ぐぐぐ...

パクッ
チュポ

うおお…
なかなかいぞ！
温かい舌が絡んできおるわ！

ぐり
ぽっ
ジュッポ
ジュッ
ぐ
ちゅ

んむっ…
ぐ…んぐ…

くくく、股間がうずくか！
亀頭が喉を突く度に潮を吹いておるわ！

んふー！んぐっんぐっ…

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

キュン♡
キュン♡
プシュッ
プシュッ



出すぞ…っ!!
受け取れ!!

ビュッ

ビュッ

ビュッ

んぐっ!!
んー!!
んー!!
んー!!
んー!!
んー!!

おっと、吐き出すなよ。
全部口の中で受け止めるんだ。

んくっ…んぐう

ビュ
ビュ
ブル
ブル

パッ
パッ♡
プオオッ



う……うええ……

ありがたく全部
飲み込め！

バロオ





ゴクン

くくく…
それでいい





上手に飲み込めたし、
下にも褒美をやろう。

ひっ！
それだけは！
初めては王子に…

くくく、初めてか。
それは良い。容赦はせんぞ



いっ…
いぎ…痛いよお
王子い…たすけ

ズッ
ズッ

アッ

アッ



全部入ったぞ。
処女卒業おめでとうレイン

う……うう……
ひどいぞ

ずぶん

薬の効き目が切れてきたか。
もつと塗り込んでやろう

トロォ

ㄱㄱ
ㄱㄱ

や...それやだ
もうやだあ!!

さすが帝国1のメイドのマ○コ。
ヒダヒダが絡まってきおる

あふっ…あっ
なんで…
きもち…い…



素晴らしい！最高の具合だぞレイン
もう出そうだ！

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

ぽちゅっ

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

あああ！
中はだめえ

ぽちゅっ

うっ、すさまじい吸い付きだ！

ビクッ
ビクッ

ビュルル
ビュルル

ああ！
あああああ
あああああ！

ドクン
ドクン





4030

催淫剤で強制的に激しい快感を感じさせられる
レインの初セックスはその後、数時間に及んだ。

はぁ

はぁ

はぁ



イツてもイツても、うずぎの止まらない下腹部に
何度も何度も肉棒を打ち立てられた。

何度目かも分からない激しい射精を子宮で感じながら、
レインの意識は遠のいていった。



グスタフ邸 地下室

う…
今度はどく…？





気がついたかレイン。
ご機嫌いかがかね？
なかなか素敵な格好だね。

やだ…
見ないでください…



だいぶ態度が良くなったね。
君はアナルもキレイだ。
ちよつといじつてあげよう

やあ！
そんなところ
やめてください



ぬいっ
ぬいっ

痛い痛い痛い！
動かさないでえ



くくく、痛みはすぐ無くなるさ。
それはそうと、食事を持ってきたぞ。

え……？
それが食事……？



先程の催淫剤に栄養素を配合したものだ。
今日からこれを肛門から摂取するんだ。
栄養素と催淫剤が直腸から吸収され、
セックスのことしか考えられないようになるぞ

お尻から食事なんて
そんな…

栄養素と薬が十分吸収されたら、
残りカスゼリーが排泄されるからな。
さあ、しっかりと食べるんだ。

ぬるっ

あうっ
やめえっ





おにやう

あひぎいあああ
あああああ

さあ続けて2本目だ。

くぽっ

やあ、もうむりい



最後の5本目だ！
しっかり飲み込め！

すにゅー

ひぎいあああ
あああああ

ゴホッ

ゴホッ



あああああ
お腹苦しいい

無理もう
出ちゃうう

ギュルル

おつと、せつかくの食事を吐くなよ！
だらしない肛門には栓が必要だな

ギチ

ギチ

ギョッ

ギュルル

出したいよお
お腹くるしい

吸収するのを待つ間に
ワシは前で楽しませてもらうぞ

ぬ
ぷっ

あうっ！
お腹がジーンするう



直腸の脈動に合わせて
前の穴も絡みついてきおるわ

あっ、はあ！すげっ
きもち・いいいい！

んっ ぁっ ふっ



ドクン

ドクン

うああ…
熱いの…来てるっ

んっ

んっ おっ ふっ

ふう、たまらんマ○コだ。
さて、そろそろ食事が終わった
頃合いだな。

ヒッ
ヒッ
ドゥッ

ギュルルル

苦しいい
栓抜いてえ





ああああ！
でりゅ！でりゅうううううう！！

ぶじゃ♡

ぶじゃりゅ♡

ぐほい

ん♡
あ♡

ふ♡

あ♡

お♡ イッ♡



ハッハッハッハッ！
帝国イチと謳われた美人メイド
の素晴らしい食事姿だな！

ゴボ
ホカ♡ ホカ♡

お尻の奥が：
ジンジンしてえ：

ん♡
あ♡
ふ♡
あ♡
お♡ イッ♡

おら！
これが欲しいんだろう！

ず
にゅー

ひあああああ♡
そこお！そこしゅきい♡♡♡

ん♡
あ♡

ふ♡

あ♡

お♡ イ♡♡

直腸から吸収された催淫剤は一瞬にして浸透し、
レインは身体中が性感帯になり、正気を失った。

1.0
1.0
1.0

1.0

1.0

んおおおおお♡
動いてえ！もつと動いてえ！♡

んっ
あっ

ふっ

あっ

おっ イッ♡

中がすごい熱さだぞ！
トロットロにアナルが
溶けておる！

すごいよお♡
もっともつとほじってええ♡

1.0
1.0
1.0

1.0

1.0

んっ
あっ

ふっ

あっ

おっ イッ♡

尻に出すぞ！

ドクン
ビュル

ビュル

はっ♡

んっ♡
あっ♡

ふっ♡

おっ♡

おっ♡ イッ♡

はっ♡ はっ♡



グスタフの執拗なレインへの調教は、
連日連夜続けられた。

食事は強制的に飲まされるグスタフの精子と
肛門から与えられる催淫ゼリーのみだったが、
十分な栄養素が配合されていたせいで、
衰弱で意識を飛ばすことすらも許されなかった。



三ヶ月後...

睡眠以外のほぼ全ての時間、様々な調教を施される。

レインにとつては、気が遠くなるような長さの三ヶ月だった。

毎日直腸から吸収される催淫剤は

既にレインの身体に浸透しつくされ、

新たに注入するまでもなく、

身体は常に肉棒を求めるようになった。

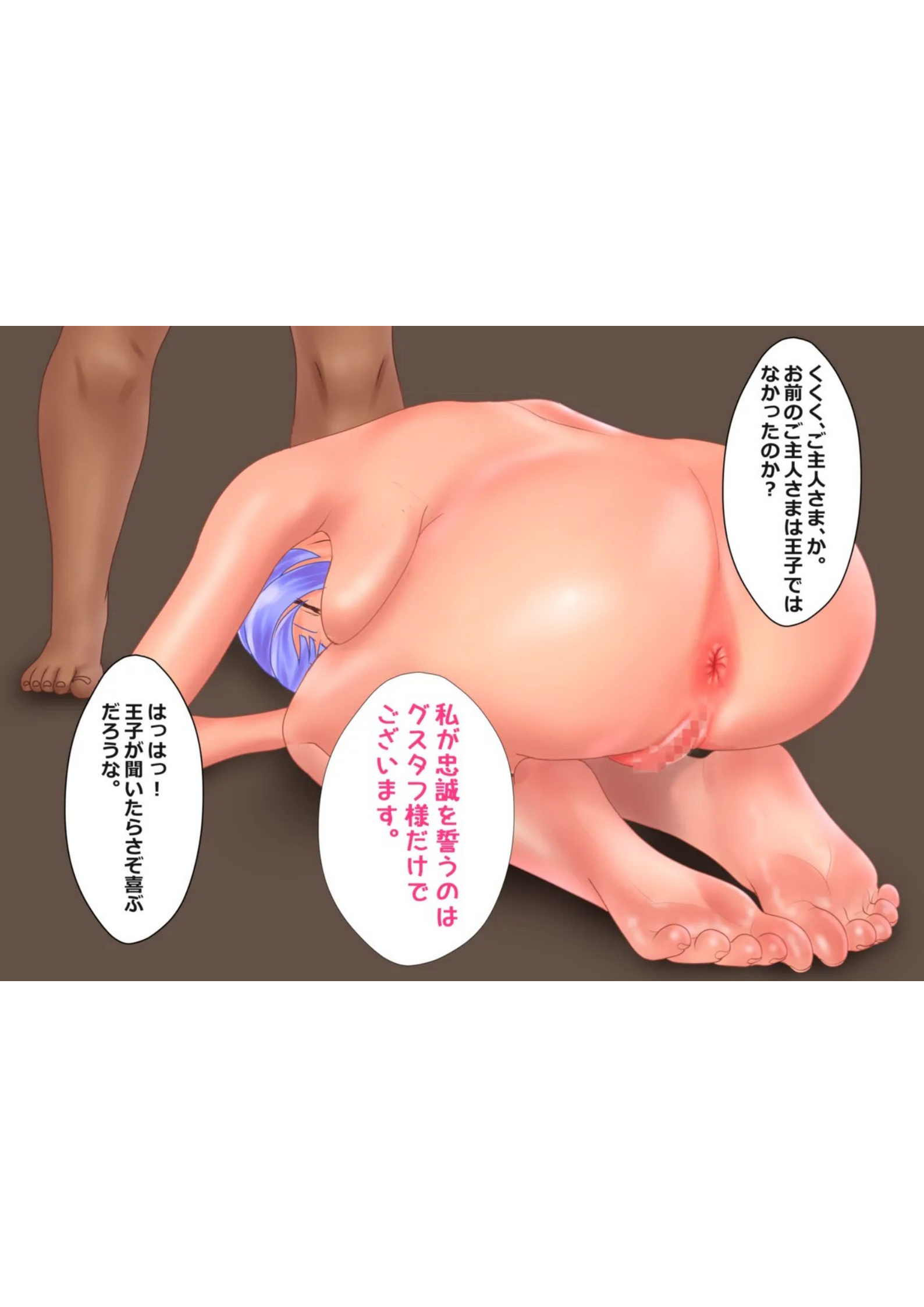
治まることのない欲情に飲み込まれ、二ヶ月経つ頃には精神が崩壊。

グスタフに奉仕し、寵愛を受けるこのみを求めるようになっていた。

身体の拘束が解かれ地下室から出るのは、
グスタフ就寝前の奉仕の時間のみ。
連日の調教でアナルはだらしく緩み、
クリトリスは常に勃起していた。

ご主人さま。
今宵も私にご奉仕
させていただきます。





くくく、ご主人さま、か。
お前のご主人さまは王子では
なかったのか？

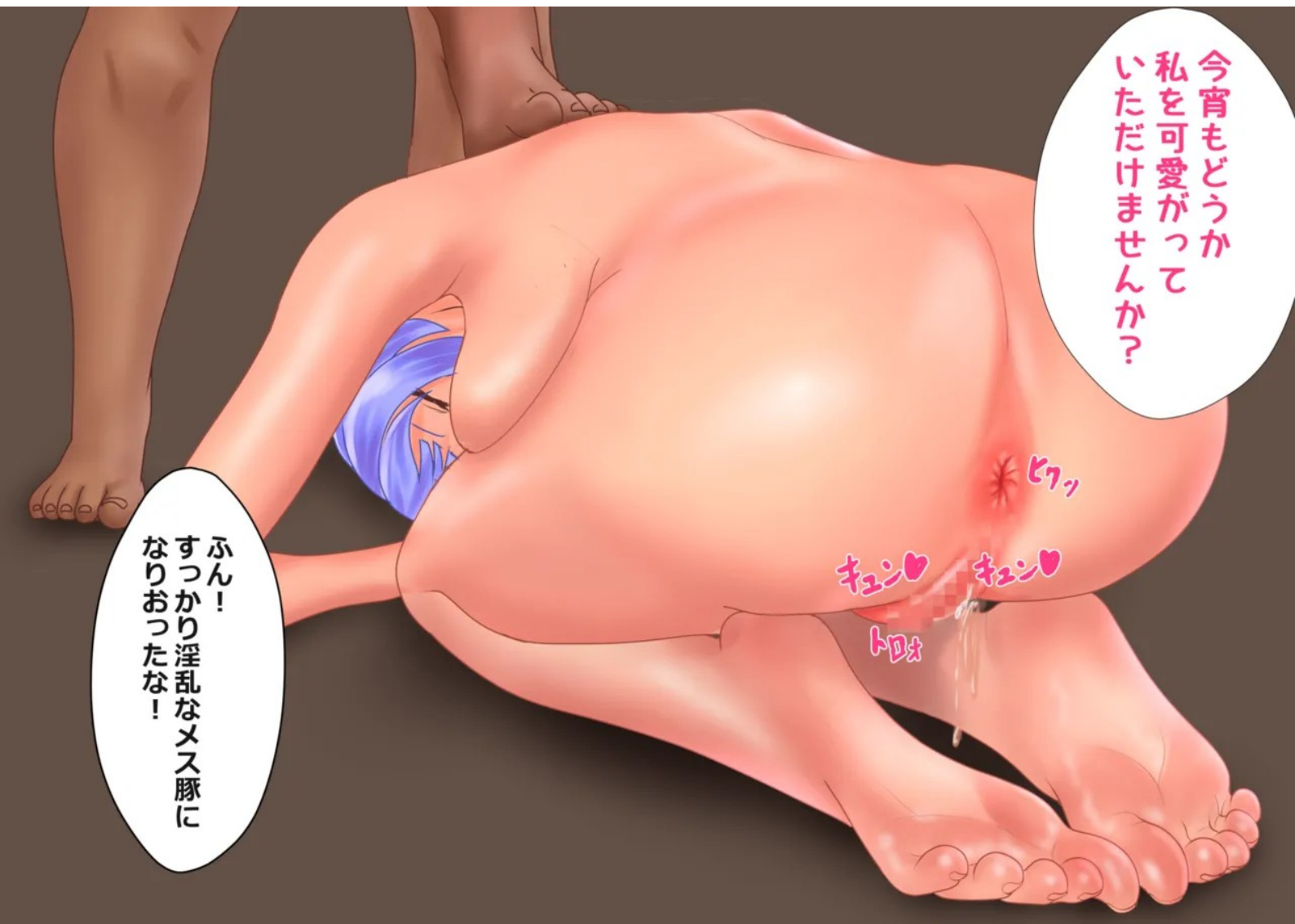
私が忠誠を誓うのは
グスタフ様だけで
ございます。

はっはっ！
王子が聞いたらさぞ喜ぶ
だろうな。

今宵もどうか
私を可愛がって
いただけませんか？

ふん！
すっかり淫乱なメス豚に
なりおったな！

ピクッ
キュン♡
キュン♡
トロォ



では上で勝手に
動くが良い

はああ……♡
ご主人さまの……入ってくるう

ずぶ……♡

奥まで・・・届くのお・・・
気持ちいいよお

ハッ
ッ

ハッ
ッ

ほ
ちゅっ

ほ
ちゅっ
す
ちゅっ

ほ
ちゅっ

あそびゴシシヨゴシヨ
だぞ……！

はいトロトロですのぉ♡

ん：イキそうです…
レインがイクとこ見てください

ほちゅっ

ほちゅっ
すちゅっ

ほちゅっ

んあああっっっ!!!

ポ
ルンッ

ポ
ルッ

ぽ
ちゅっ

ぽ
ちゅっ
す
ちゅっ

ぽ
ちゅっ



ご主人さまもっとお。
ジンジンが止まらないのお。





今度はレインのお尻
見ててくださいませえ

ニユッポ



ム...

ム...

は...

は...

は...

は...

ム...

ム...

は...

お、お、
あはああああ...

お、お、
あはああああ...





はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ



あはあ…

ご主人さまあ
最高でございますう



ムッ

ムッ

はっ

はっ

はっ

はっ

ムッ

ムッ

はっ

どうぞアナルも味わって
くださいませ…

ぱっ



ふっ

はっ はっ はっ はっ

ふっ

おほおっ

ふっ

ふっ

はっ

おっ、おっ

ぬほっ

グー

ぐっ

すごいぞレイン……！
もう出そうだ……！！

ふっ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ふっ

あはあ
嬉しい

ふっ

ふっ

はぁ

中に熱い出して
くださいませえ

ぬほっ

ブー

ぬほっ



[illegible]

わ、私も…

ビクッ ビクッ

グウウウウウ!

イッ…

ビクッ

ビクッ

グウウ

キ

[illegible][illegible]



だいが可愛く育ってきた
ようだな。
褒美としてもう一発
注いでやろう。

あふう...
嬉しいです...

はぁ

びく

はぁ♡

はぁ♡

びく

はぁ





「いつか王子と」わずか三ヶ月前まで、
そう夢見ていたレインのファーストキスは、
新しいご主人さまとの濃厚で淫靡なものだった。

中にたつぷりと出すぞー！

んむっ

んっ♡

はひっ
お願いします
ご主人さまああ

ちゅく
ちゅる

はっ♡

はあ♡

ふっ♡

んっ♡

んっ♡

1.0

1.0

1.0

1.0

はちゅっ

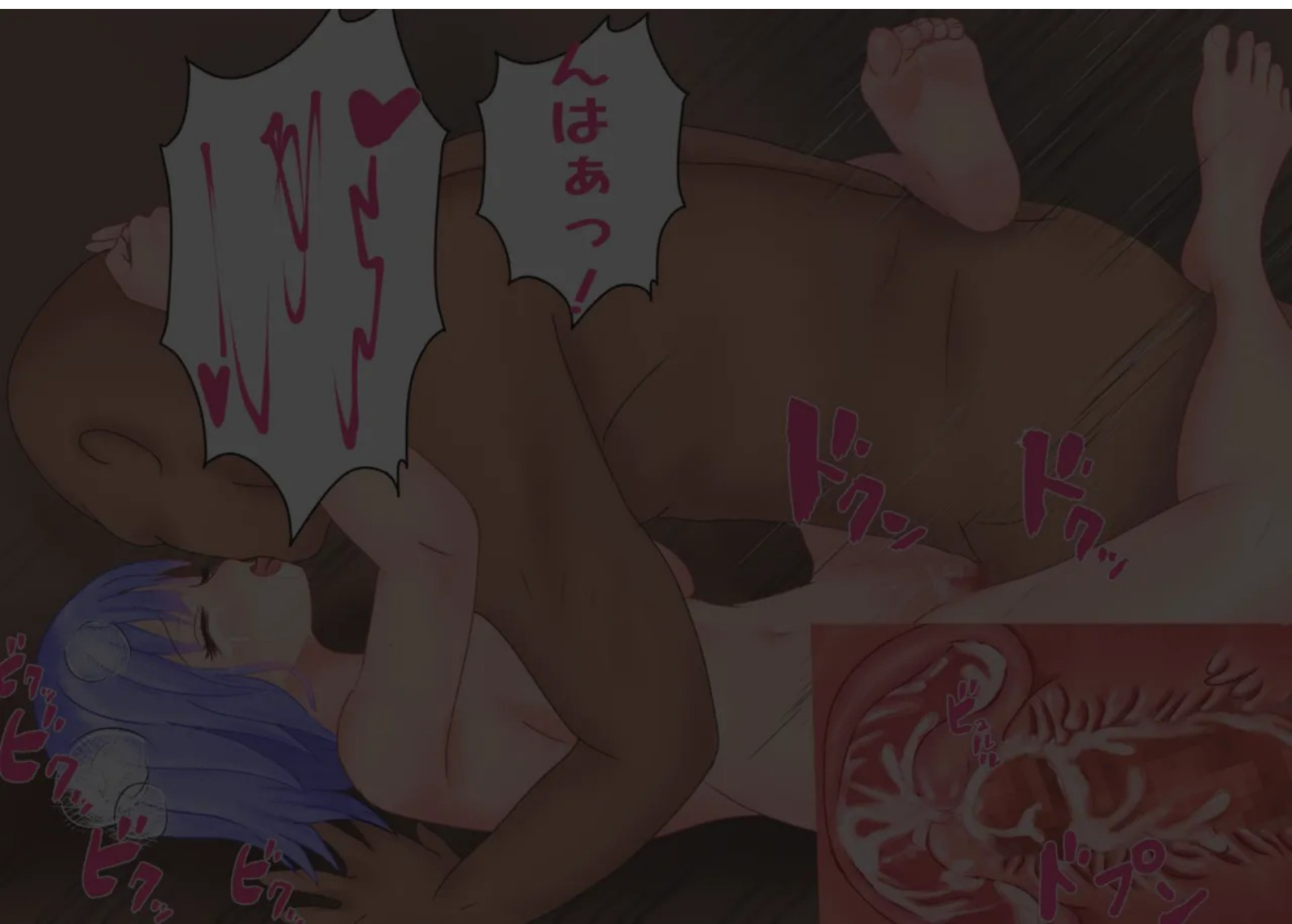
はちゅっ

ぐほっ

ぐほっ







立てレイン。
地下室で食事注入の時間だ。

はい、ご主人さま。
仰せの通りに…

1
E
N
D

はな

はな

はな